

第5章 自殺対策との関連事業 1 関係機関・団体等における取り組み

事業名等	事業内容	機関名	重点施策（対象別自殺対策）				
			若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
24時間365日 自殺予防電話相談	24時間休みなく自殺予防のための電話相談を継続実施します。様々な悩みに苦しんで電話を掛けて来られる方々の話を丁寧に傾聴し、再び生きる勇気を取り戻して頂くように対応します。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●	●	●
インターネット相談	月に2回程度、インターネット相談を行っています。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●	●	●
電話相談員養成研修事業	応募された方を対象に、電話相談員を養成するため、1年間の人材育成研修をします。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●		
新潟県自殺予防キャンペーン事業	こころの健康の予防といのちの大切さを学ぶためのこころの健康セミナーを毎年開催します。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●		
一般市民対象の公開講座	一般市民の方を対象に新潟いのちの電話の活動啓発事業として、相談員の募集を兼ねた市民公開講座を開催します。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●		
JR駅構内での街頭活動	日本いのちの電話連盟とJR東日本と協力し、自殺予防キャンペーンとして県内のJR駅でフリーダイヤル相談カード入りティッシュを配布します。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●		
フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」への参加	毎月10日に24時間、全国一斉にフリーダイヤルによる自殺予防の無料電話相談に参加します。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●	●	●	●	●
中学3年生への相談カード配布事業	新潟市内の中学3年生全員に匿名で相談できる窓口を紹介するカードを配布します。	社会福祉法人 新潟いのちの電話	●				
新潟市こころといのちのホットライン事業	電話による健康や生活問題等、日常生活において悩みや不安を抱えている市民に対する相談支援。不安や悩みを傾聴し、その解消を目指します。併せて、必要に応じて適切な専門機関を紹介します。	新潟市社会福祉協議会	●	●	●	●	●

事業名等	事業内容	機関名	重点施策（対象別自殺対策）				
			若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
管理監督者向けメンタルヘルス教育	メンタルヘルス対策促進員が中小事業場におけるメンタルヘルス教育の継続的な実施を普及させるため、メンタルヘルス教育の方法について教示します。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●	●	●		
若年労働者向けメンタルヘルス教育	メンタルヘルス対策促進員が中小事業場の若年労働者に対して、セルフケアを促進するための教育を行います。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●				
産業保健関係者及び労働者からの相談対応	産業保健カウンセラー等の産業保健相談員が、職場における労働者の健康管理の指導等に当たる産業保健関係者からのメンタルヘルス対策についての相談及びメンタルヘルス不調の労働者からの相談に対応します。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●	●	●		
メンタルヘルス対策の普及促進のための個別訪問支援	メンタルヘルス対策促進員が、メンタルヘルス対策の導入、ストレスチェック制度の導入及び高ストレス者の面接指導の結果の事後措置や集団分析等を踏まえた職場環境の改善等の支援を実施します。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●	●	●		
小規模事業場の事業者又はメンタルヘルス不調の労働者、または事業場の規模を問わず産業保健スタッフからの産業保健全般にわたる相談対応	小規模事業場の事業者からの労働者の健康の確保に関する相談及びメンタルヘルス不調の労働者からの相談、または事業場の規模を問わず産業保健スタッフからの産業保健全般にわたる相談対応に、登録産業医又は登録保健師が相談対応します。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●	●	●		
ストレスチェックに係る高ストレス者に対する登録産業医の面接指導	労働安全衛生法第66条の10（心理的な負担の程度を把握するための検査等）に基づき、労働安全衛生規則第52条の15（面接指導の対象となる労働者の要件）に規定する要件に該当する労働者を対象として、医師による面接指導を実施し、労働安全衛生法第66条の10の第5項に規定する面接指導の結果に基づく事後措置に係る事業者からの意見聴取に対し、登録産業医による意見陳述を実施します。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●	●	●		
登録産業医、登録保健師による個別訪問による産業保健指導	登録産業医、登録保健師が訪問した事業場のメンタルヘルス対策の状況を踏まえ、労働衛生管理の総合的な助言・指導を行います。	独立行政法人労働者健康安全機構 新潟産業保健総合支援センター	●	●	●		
新潟大学 ちいきの保健室	新潟大学大学院保健学科が、保健相談活動として実施しています。入院中や居宅における家族の療養上の不安や悩み・疑問がある方、困っていることがあるがどこに相談したらよいかわからない方、医師には直接聞けない、言えないことを聞いて欲しいなど、一般の方の健康問題について、保健医療専門職者が相談対応しています。	新潟大学大学院保健学研究科	●	●	●		
新潟市くらしとこころの総合相談会（相談員派遣）	生活やこころの健康などの相談に、弁護士、保健師、精神保健福祉士などの多職種が対応します。	新潟県産業看護部会	●	●	●		
新潟市こころといのちのホットライン（相談員派遣）	電話相談により、こころの健康や生活の悩みなどに対応します。	新潟県産業看護部会	●	●	●		

事業名等	事業内容	機関名	重点施策（対象別自殺対策）				
			若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
所属企業におけるメンタルヘルス対策	健康相談、健康教育、ストレスチェックの実施及び結果を活用したメンタルヘルス対策、退職者の職場復帰支援などを行います。	新潟県産業看護部会		●			
メンタルヘルスマネジメント検定（Ⅰ種、Ⅱ種、Ⅲ種）	働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりを目指して、職場内での役割に応じて必要なメンタルヘルスクエアに関する知識や対処方法を取得するための検定を実施します。	新潟商工会議所	●	●	●		
専門家による無料窓口相談	弁護士、税理士、社会保険労務士、海外取引専門スタッフ、中小企業診断士などによる経営者のための高度な相談窓口を設置しています。	新潟商工会議所	●	●	●		
セミナーの実施	従業員の心身の健康を損ね、企業価値や経営の質の低下に繋がりがねないテーマについて、理解促進や防止を図るためのセミナーを開催します。	一般社団法人 新潟県経営者協会	●	●	●		
新潟市こころといのちのホットライン相談員研修への協力	新潟市こころといのちのホットライン相談員研修において会員が講師として協力します。	新潟県臨床心理士会	●	●	●		
新潟いのちの電話相談員研修への協力	新潟いのちの電話相談員研修において会員が講師として協力します。	新潟県臨床心理士会	●	●	●		
多重債務者対策相談会におけるこころの健康相談	新潟県から委託を受け、多重債務者相談会においてこころの健康に関する相談を希望する人への相談に対応します。	新潟県臨床心理士会	●	●	●		
いのちを守る授業	弁護士が学校に出向き、いじめ防止やSNSによるトラブル防止等の授業を行います。	新潟県弁護士会	●	●			
いのちを守る勉強会	保健所等と連携し、地域の多職種が集まって事例検討やグループワーク等を行います。	新潟県弁護士会	●	●	●		●
新潟市くらしとこころの総合相談会（相談員派遣）	生活やこころの健康などの相談に、弁護士、保健師、精神保健福祉士などの多職種が対応します。	新潟県弁護士会	●	●	●		●

事業名等	事業内容	機関名	重点施策（対象別自殺対策）				
			若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
スキルアップ研修会	弁護士会会員を対象に、面接技法、人権課題、ゲートキーパースキル等について研修を行います。	新潟県弁護士会	●	●	●		●
電話相談会	労働問題、借金問題、家庭問題、社会的マイノリティの抱える問題等に関し、無料電話相談会を行います。	新潟県弁護士会	●	●	●		●
弁護士・支援者ほっとライン	法的トラブルを抱える人の近くで活動する支援者を対象に、電話相談、対面相談、ケース会議参加要請に無料に対応します。	新潟県弁護士会	●	●	●		●
アウトリーチ型総合相談	従来の「窓口で待つ」スタイルの相談対応から一歩進め、オンラインや出張相談も含めた多職種によるアウトリーチ型総合相談を実施します。 コロナ禍の情勢に鑑み、相談方法はLINE又はZOOMによるオンライン相談を想定していますが、コロナ禍ある程度収束した場合には、相談者の自宅や最寄りの会場への出張相談も方法に加えて実施することを検討します。	新潟県弁護士会	●	●	●		●
ゲートキーパー養成ワークショップ	自殺危機にある人に初期介入を行う自殺予防ゲートキーパーを養成するワークショップを開催します。	一般社団法人 新潟市薬剤師会	●	●	●		
依存症ゲートキーパー事業	市販薬依存の問題に取り組んでいる講師を招き講演会を行います。 啓発資材を用いて会員薬局へ市販薬依存に関する情報を発信し、新潟市自殺予防街頭キャンペーンでも配布し、広く一般市民への啓発を実施するほか、ゲートキーパーとして薬局へ来られている方の変化に気づき、声掛けをします。 また、今年度もアルコール関連問題啓発週間に合わせてポスターを薬局内に掲示してもらい、一般市民への啓発を行います。	一般社団法人 新潟市薬剤師会	●	●	●	●	
薬物乱用防止教室	担当校からの依頼を受け、学校薬剤師が小中学校・高校の生徒に対し、アルコールやたばこ、薬物などが人体に与える影響について解説を行い、これらによる健康被害を予防します。	一般社団法人 新潟市薬剤師会	●	●	●		

事業名等	事業内容	機関名	重点施策（対象別自殺対策）				
			若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
児童生徒のSOSの受け止め方教育事業	若年層の中でも、小学生における自殺の原因として家庭問題が多いことに着目し、これまでに実施されてきた薬物乱用防止教室における「児童生徒へのSOSの出し方」教育と並行して行われるべき「児童生徒からのSOSの受け止め方」について、自殺予防対策班の立場から小学生の保護者を対象に啓発・教育を目的としたオンライン勉強会を実施します。また、ゲートキーパーの役割を周知するための啓発資料（アイキャッチ効果の高いクリアファイルを想定）を作成し、資料の配布時などに組み合わせて活用します。	一般社団法人 新潟市薬剤師会	●				
<ul style="list-style-type: none"> 自殺のおそれのある行方不明者の発見活動 自殺未遂者の一時的保護 自殺未遂者やその家族・関係者からの相談受理 	それぞれの事案に応じた活動を行い、必要に応じて相談等関係機関の教示と連携を図る対応を行います。	新潟県警察本部				●	
虹の会	自死遺族同士が気持ちを語り合い、苦しみや悲しみを分かち合い、支え合うことによって生きる希望を取り戻せるよう支援することを目的に活動します。	自死遺族語り合いの会 虹の会	●	●	●		
生きづらさ支援ポータルサイト「新潟グラウンズ」	当事者の抱える様々な悩みごとに対し、地域・分野に応じた多様な支援機関の情報をウェブサイト上で提供し、適切な支援へとつなげます。	特定非営利活動法人 新潟NPO協会	●	●	●	●	●

第5章 自殺対策との関連事業 2 庁内関係課等における取り組み

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
多重債務者の相談窓口と支援体制の充実	多重債務により生活が困窮している方の相談に応じ、債務の解決を図るとともに、生活を再建するために必要な情報の提供や助言、支援を行います。また、市の関係部署が連携して多重債務問題の解決に取り組むために、多重債務者対策庁内連絡会議を開催します。	市民生活部	消費生活センター	●	●	●		●
私を大切にするための自己尊重講座	女性が自分を信頼する力を回復し、自分や相手を大切にする関係作りを学びます。	市民生活部	男女共同参画課	●	●	●		
アルザにいがた相談室 「こころの相談」	家族のこと、夫婦やパートナーのこと、対人関係、生き方などの悩みについての相談に応じます。	市民生活部	男女共同参画課	●	●	●		
アルザにいがた相談室「男性電話相談」	職場の人間関係、家族のこと、夫婦のこと、DV、生き方などの悩みについて男性相談員が相談に応じます。	市民生活部	男女共同参画課	●	●	●		
アルザにいがた相談室「LGBTQ+電話相談」	パートナーとの関係、家族や友人との関係、職場や学校のことなど、性的マイノリティに関する相談に応じます。	市民生活部	男女共同参画課	●	●	●		
配偶者暴力相談支援センター	配偶者やパートナーなど親密な関係にある人からの暴力被害についての相談に応じます。	市民生活部	男女共同参画課	●	●	●		
女性相談	夫婦や家族間の家庭内の問題や、配偶者などからの暴力被害についての相談に応じます。	市民生活部	男女共同参画課	●	●	●		
民事相談	主に離婚、相続などの一般的な相談を受けています。	市民生活部	広聴相談課	●	●	●		

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
新潟市発達障がい支援センターによる相談支援	自閉症などの発達障がいのある方やご家族の日常生活での相談に応じ、必要な情報提供や助言、支援を行います。	福祉部	障がい福祉課	●	●	●		
障がい者に関する相談・支援	障がい者及びその関係者から、障がい福祉等に関する相談に応じ、必要な情報提供や助言・支援を行います。	福祉部	障がい福祉課	●	●	●		
地域包括支援センターにおける総合相談	高齢者の生活を支援するため、市が日常生活圏域ごとにセンターを設置し、介護、福祉、健康、医療などの相談窓口業務を委託しています。	福祉部	地域包括ケア推進課			●		
元気力アップ・サポーター制度	市内の65歳以上の方が、介護施設などでサポート活動に取り組んでいただくことにより、高齢者自身の介護予防といきいきとした地域社会づくりを推進することを目的とした事業。活動を行った場合にポイントを付与し、獲得したポイントに応じ、翌年度最大5,000円の交付金を受け取ることができます。	福祉部	地域包括ケア推進課			●		
地域の茶の間	地域のボランティア団体等が、地域の集会所や公民館、空き家等を利用して、子どもや高齢者、障がい者等だれもが気軽に集まることのできる通いの場を運営します。	福祉部	地域包括ケア推進課	●	●	●		
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座を開き、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る認知症サポーターを養成します。	福祉部	地域包括ケア推進課	●	●	●		
家族介護教室	家庭での介護方法や介護者の健康づくりなどの知識、技術を習得できる講習会を開催します。	福祉部	地域包括ケア推進課	●	●	●		

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
産後ケア事業	家族等から十分な支援が受けられない産婦及び生後6か月未満の児で、産後の心身の不調又は育児不安等がある人が、安心して子育てを始められるよう、産院や自宅等で出産後の身体・乳房管理や生活面の指導、沐浴・授乳等の育児指導等を受け、心身のケアや育児サポート等を実施します。	こども未来部	こども家庭課	●	●		●	●
親子のための相談LINE	親やきょうだい、友人との関係の悩みや子育ての不安など、子ども（18歳未満）やその保護者の方からの相談をLINEで受け付けます。	こども未来部	児童相談所 こども相談課	●	●			
新潟市地域自殺対策推進センター運営事業	誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すことを目的に、統計の実態分析や保健・福祉・医療・労働・教育・警察等関係機関との連携体制の構築、区役所等の関係機関に対する適切な助言・情報提供、地域における支援者等に対する研修会等を行います。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●	●	●
メール相談（心のケア）	様々なストレス、心身の不調などについて、本人や家族などからのメール相談を精神保健福祉相談員等が受けます。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
精神保健福祉相談員などによる精神保健福祉相談	こころの健康や精神障がい者の福祉について、精神保健福祉相談員等が、相談を受けます。また、精神科医療受診に関することや、精神疾患を抱える家族に対する不安軽減や孤立防止のための相談を受けます。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
精神科医による精神保健福祉相談	こころの健康について、精神科医が医学的見地から相談を受けます。うつ病、統合失調症、発達障害、不安障害などについて精神科受診のタイミングや治療についての相談を受けます。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
思春期青年期相談	思春期青年期におけるこころの健康について、精神科医が医学的見地から相談を受けます。	保健衛生部	こころの健康センター	●				
依存症相談	アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症について、専門の相談員が相談を受けます。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
臨床心理士による若者のための相談	家族関係、人間関係の悩みや自分の性格、生き方などについて、臨床心理士が相談を受けます。	保健衛生部	こころの健康センター	●				
アルコール・薬物・ギャンブル依存症等の家族支援事業	アルコール・薬物・ギャンブル依存症問題を抱える人の家族を対象に、疾病及び対応方法、社会資源等の正しい知識を提供し、家族の対処技能の向上及び精神的負担の軽減を目的に事業を実施します。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
アルコール・薬物・ギャンブル依存症治療・回復プログラム	アルコール・薬物・ギャンブル依存症者が依存症に関する正しい知識や理解を深め、再発を予防するための具体的な方法を習得することを目的に、認知行動療法を用いた治療・回復プログラムを実施します。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
心のサポーター養成事業	メンタルヘルスや精神疾患の正しい知識を持ち、地域や職場で身近な人に対してできる範囲で手助けをする「心のサポーター」を養成し、精神疾患の予防や早期介入につなげることを目的に、心のサポーター養成研修を実施します。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
新潟市ひきこもり支援推進事業「実態把握調査事業」	ひきこもり支援施策の企画立案の前提となる対象者や支援者のニーズを明らかにするための調査を行います。 ※令和5年度から「保健・福祉」分野の相談機関支援者を対象に調査開始。段階を踏んで「就労・教育」分野へと広がります。	保健衛生部	こころの健康センター	●	●	●		
こころの健康相談	市職員（会計年度任用職員を含む）を対象に、メンタルヘルスについて保健師及び臨床心理士による個別相談を行います。必要に応じて、心療内科医による相談へつなぎ対応しています。	総務部	職員課	●	●			
メンタルヘルスセミナー	各安全・衛生委員会主催。 職員のこころの健康維持とメンタル不調の未然防止を目的に、4月異動や昇任発令等で職場環境に変化があった職員を主な対象として研修を行います。	総務部	職員課	●	●			

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
健康相談	地域住民の心身の健康問題について個別に相談を行い、日常生活や食事の指導を通じて生活習慣病を予防するとともに、自らの健康管理ができるよう支援し、健康保持増進に資することを目的に実施します。	北区	健康福祉課	●	●	●		
		東区	健康福祉課	●	●	●		
		中央区	健康福祉課	●	●	●		
		江南区	健康福祉課	●	●	●		
		秋葉区	健康福祉課	●	●	●		
		南区	健康福祉課	●	●	●		
		西区	健康福祉課	●	●	●		
		西蒲区	健康福祉課	●	●	●		
育児相談	育児に悩みや不安を持つ保育者に対し個別に相談を行うことにより、子育てを支援するとともに保育者の仲間づくりをします。	北区	健康福祉課	●	●			
		東区	健康福祉課	●	●			
		中央区	健康福祉課	●	●			
		江南区	健康福祉課	●	●			
		秋葉区	健康福祉課	●	●			
		南区	健康福祉課	●	●			
		西区	健康福祉課	●	●			
		西蒲区	健康福祉課	●	●			

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
家庭訪問	健康問題を持つ市民に対し、家庭に訪問して援助を行います。	北区	健康福祉課	●	●	●		
		東区	健康福祉課	●	●	●		
		中央区	健康福祉課	●	●	●		
		江南区	健康福祉課	●	●	●		
		秋葉区	健康福祉課	●	●	●		
		南区	健康福祉課	●	●	●		
		西区	健康福祉課	●	●	●		
		西蒲区	健康福祉課	●	●	●		
産後うつスクリーニング	新生児・産婦家庭訪問等において、産後うつを早期発見するため、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS質問票）を活用し、適切な医療や支援を受けることができるよう指導・助言を行います。	北区	健康福祉課	●	●			
		東区	健康福祉課	●	●			
		中央区	健康福祉課	●	●			
		江南区	健康福祉課	●	●			
		秋葉区	健康福祉課	●	●			
		南区	健康福祉課	●	●			
		西区	健康福祉課	●	●			
		西蒲区	健康福祉課	●	●			

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
思春期健康教育	区内の希望があった小学校・中学校等を対象に、思春期健康教育を実施します。 思春期のこころとからだの変化や命の大切さを学ぶ講演会を行います。	北区	健康福祉課	●				
		東区	健康福祉課	●				
		中央区	健康福祉課	●				
		江南区	健康福祉課	●				
		秋葉区	健康福祉課	●				
		南区	健康福祉課	●				
		西区	健康福祉課	●				
		西蒲区	健康福祉課	●				
区内小中学校の養護教諭との連絡会議	年1回区内小中学校の養護教諭と区健康福祉課保健師による連絡会を実施します。 学校と保健行政の連携や情報の共有を図ることで、子どもたちが育つ中でのこころと体づくりに対してよりよい支援を目指します。また、区の状況や健康課題を共有し、学校・保健行政協働の健康の維持増進に向けた取り組みへつなげます。	北区	健康福祉課	●	●			
		東区	健康福祉課	●	●			
		中央区	健康福祉課	●	●			
		江南区	健康福祉課	●	●			
		秋葉区	健康福祉課	●	●			
		南区	健康福祉課	●	●			
		西区	健康福祉課	●	●			
		西蒲区	健康福祉課	●	●			

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
在宅医療（介護）ネットワーク	介護保険事業者・福祉や医療機関等と情報の共有を図り、連携の強化をします。	北区	健康福祉課		●	●		
		東区	健康福祉課		●	●		
		中央区	健康福祉課		●	●		
		江南区	健康福祉課		●	●		
		秋葉区	健康福祉課		●	●		
		南区	健康福祉課		●	●		
		西区	健康福祉課		●	●		
		西蒲区	健康福祉課		●	●		
健康管理支援事業	生活保護受給者の健康の保持及び増進、自立支援のため、支援を行う必要がある対象者に対し、関係機関と連携し、健康・医療・生活面から相談、支援を行います。	北区	健康福祉課	●	●	●		
		東区	保護課	●	●	●		
		中央区	保護課	●	●	●		
		江南区	健康福祉課	●	●	●		
		秋葉区	健康福祉課	●	●	●		
		南区	健康福祉課	●	●	●		
		西区	保護課	●	●	●		
		西蒲区	健康福祉課	●	●	●		

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
生活困窮者に関する相談・支援	生活に困窮する人の相談を受け、生活保護制度などの説明をする とともに、関係機関と連携して必要な支援を行います。	北区	健康福祉課					●
		東区	保護課					●
		中央区	保護課					●
		江南区	健康福祉課					●
		秋葉区	健康福祉課					●
		南区	健康福祉課					●
		西区	保護課					●
		西蒲区	健康福祉課					●
各種情報提供	救急搬送に係る自殺企図の状況について、関係機関へ情報提供を します。	消防局	救急課				●	

事業名	事業内容	担当部署		重点施策（対象別自殺対策）				
		部局名	課名	若年層	働き盛りの年代	高齢者層	自殺未遂者	生活困窮者
若者支援センター「オール」事業	子ども・若者育成支援推進法に基づき、15歳～39歳の若者の交流及び研鑽の場を提供し、若者の成長を支援することにより、（特に困難な状況を有する）若者の社会的自立、社会参加及び社会参画を推進します。 若者の支援の3本柱 ①悩みを解決する相談窓口 ②安心して過ごせる居場所配置 ③キャリア発達を促す事業開催	教育委員会	地域教育推進課	●				
教職員等を対象としたゲートキーパー研修会	児童・生徒の危険が高まったサインについて見逃さず、早期に対応できるよう若年層における自殺の実態と未然防止・自傷への理解と対応などについて研修会を行います。	教育委員会	学校支援課	●				
児童・生徒等における相談窓口の啓発普及	児童・生徒等を対象とした、「いじめ相談カード」などを配付し、早期に相談するよう啓発を行います。その他、相談電話等の周知を図るための普及啓発資料を配付します。 SNS（LINE）を活用した相談を実施します。	教育委員会	学校支援課	●				
情報モラル教育	インターネットやSNSの正しい活用方法について、啓発を行います。保護者については、児童・生徒が安心してインターネット等が使用できるよう見守りの大切さや使用方法について啓発を行います。	教育委員会	学校支援課	●				
情報モラル教育	教職員を対象として情報モラル教育ならびにメディアリテラシー教育を推進する研修会を行います。	教育委員会	学校支援課	●				
いじめSOS電話相談	いじめ等に関わる悩み事全般について、電話での相談を行います。 相談時間：平日 午前9時～午後5時 ※平日昼間は、スマートフォン、携帯電話からの全県のいじめ相談電話を新潟市が対応。 ※夜間及び休日は留守番電話メッセージで県の相談電話を紹介。 ※「自殺予防週間」に合わせて、相談時間の開始を早める。	教育委員会	教育相談センター	●				
相談関係機関連絡会	市内青少年の様々な相談・支援に関わる機関が連携し、地域における相談・支援のネットワークを構築します。各機関の内容・対象・住所・電話番号等の一覧表を作成し、市内全学校園に配布・周知します。	教育委員会	教育相談センター	●				
ハラスメント・メンタルヘルスセミナー	水道局職員を対象にセミナーを実施。管理監督者向けコースと一般職員向けコースを設定し、毎年交互に開催します。 ラインケア、セルフケア、ハラスメントに関する知識を習得し、メンタル不調の未然防止等を図ります。	水道局	総務課	●	●			